

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		天文台活用事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	課長名	西川 正則
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	松岡 将司
	基本事業	68	学習やスポーツへの参加機会の提供			所属班	図書館班	(内線)	2512
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	1	
	1	10	5	8	10814		コスト削減優先度評価結果	12	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H7 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	図書館天文台を一般公開しての、毎週土曜の夜の星空観望会(定期)や、その他天文現象に合わせての特別観望会(不定期)を開催。その他、星空や天文に興味を持ってもらう市民参加型のイベント開催しており、これらの星空の解説や各種望遠鏡の操作といった天文台の運営はボランティアの天文台指導員が行っている。 西合志図書館を開館するにあたり、なにか特徴ある図書館できないか、ということで天文台を設置した。その施設を活用し、住民に科学への関心を持ってもらい、生涯学習活動に生かしてもらう目的で、平成8年度から一般公開を開始した。 ・合併後、旧合志町の住民の方に天文台の存在が広く広まった。 ・ボランティアの天文台指導員の登録者減少により、利用者が多数の時の天体解説等に対応できない時がある。そのため平成21年度以降は天文台指導員を確保し、新たな天文台指導員を募集している。
【業務の流れ】	年間計画の作成。定期・特別観望会、イベントの開催。天文台広報チラシ(毎月)の作成。団体からの依頼星空観望会への対応。
【主な予算費目】	報償費(天文台指導員)、消耗品費(広報チラシの用紙)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	利用者からは、合併後、議員からもっと市民にその存在や活動をアピールしてもらいたいとの意見が寄せられた。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
毎週土曜日の定期観望会のほか、特別観望会等を行った	21年度と同様定期観望会、特別観望会を行う。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ア 開催日数	日 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
天体に興味がある市民及び周辺自治体住民	⇒ア 市民 人 ⇒イ 県民 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
多くの人に天文台を知ってもらい、利用してもらう	⇒ア 利用者数 人 ⇒イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移

指標	単位	19年度	20年度	21年度	21年度	22年度	23年度	24年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込
④ 活動指標	ア 日	42	33	35	36	35	35	
⑤ 対象指標	ア 人	54047	54561	55000	54944	55000	55000	
	イ 人	1821024	1820959	1820000	1815985	1820000	1820000	
⑥ 成果指標	ア 人	1219	620	1350	1028	1400	1400	
	イ							
事業費	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	繰入金	千円						
	一般財源	千円	369	509	524	435	589	795
	(A) 事業費計	千円	369	509	524	435	589	795
(A)のうち指定経費	千円							
(A)のうち時間外、特勤	千円	18						
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	4	2	2
	延べ業務時間	時間	192	192	192	115	192	192
	(B)人件費計	千円	762	768	764	458	764	764
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,131	1,277	1,288	893	1,353	1,559	0

総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	0
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0
	0

谷志市

事務事業名	天文台活用事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ もっと天文台の存在や活動をアピールし、市民をはじめ多くの方々に利用してもらう。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 活動の計画や準備、一般公開といった運営のほとんどをボランティアの天文台指導員に協力いただいているため。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 無料で公開しているため
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

解説や望遠鏡操作など天文台の業務のほとんどを天文台指導員に頼っているが、天文台指導員の数が減ってきており、利用者の数によっては対応できない場合がある。さまざまな天文台活動の実施は、新規天文台指導員の増員にかかっている。